

産婦人科研修プログラム

I. 研修について

次世代を担う産婦人科医を育成するため、一般的な臨床能力を養成すると共に、自らが正確に判断・対処・実行できる能力を身につけることを目指す。

産科では、超音波診断に力を入れている。胎内環境を胎児や臍帯および母体の血流計測などで判断・把握することで、より高度な周産期管理を行い、当院の特徴でもある血液疾患や甲状腺、糖尿病、腎疾患等の合併妊娠も他科と緊密な連携をとり、最善のアドバイスをを行いながら、安心・安全な出産を目指している。

婦人科では、薬物治療や内視鏡手術・開腹手術・腔式手術など、患者中心の最適な治療法を提供することを心がけ、特に悪性疾患に対しては、学会が定めたガイドラインに準じて根治的治療から緩和的治療まで、チーム医療を重要視しながら行っている。

II. 研修の到達目標

産婦人科の基本的知識と基本的手技を習得すること。

1. 婦人科腫瘍患者に対する基本的診療能力の習得
2. 妊娠、分娩に対する基本的診療能力の習得
3. 基本的な産婦人科疾患に対して適切な治療方針(保存的治療、手術的治療)が決定できる
4. 妊娠、分娩の管理ができる
5. 産婦人科の救急処置ができる

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

3名

VI. 1週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	外来診察 遺伝勉強会	外来診察	外来診察	外来診察
午後	手術 病棟業務	病棟業務	手術 病棟業務	病棟業務	手術 病棟業務
その他	分娩があれば見学	分娩があれば見学	分娩があれば見学	小児科とカンファレンス 抄読会 分娩があれば見学	分娩があれば見学

VII. 評価方法

「研修評価方法」参照